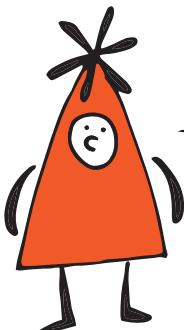


議論しよう！

顔認証・追跡システム



科学技術をめぐる、あなたの意見は「yes?」or「no?」。

本事例で紹介する、公共空間における科学技術の実証実験の是非。

あなたはこの実証実験の推進を支持しますか？

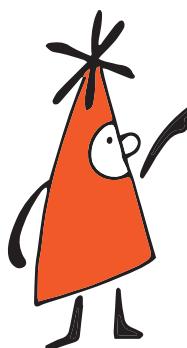
それとも反対ですか？

いずれの場合も、自分なりの根拠を交えて議論してみましょう。



議論しよう！

顔認証・追跡システム



ある科学技術を用いた、公共空間における実証実験の是非を
めぐって、大きな波紋が広がりました。
この事例では、何が問題だったのでしょうか？
そもそも、この技術の導入の意図・意義は何なのでしょう？
さまざまな視点・立場から、この技術について考えてみましょう。



議論しよう！

顔認証・追跡システム

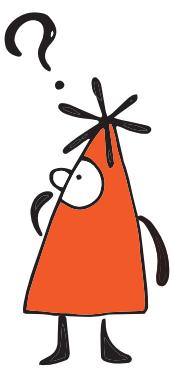
科学技術は、どんな未来を創るのでしょう？

その科学技術を応用すると、どのようなことができるのでしょうか？

あるいは、長期的に、どのようなことが懸念されるのでしょうか？

本事例をもとに議論し、

できるだけ、いろいろな角度から意見やアイデアを出してみましょう。

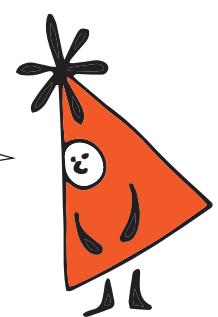


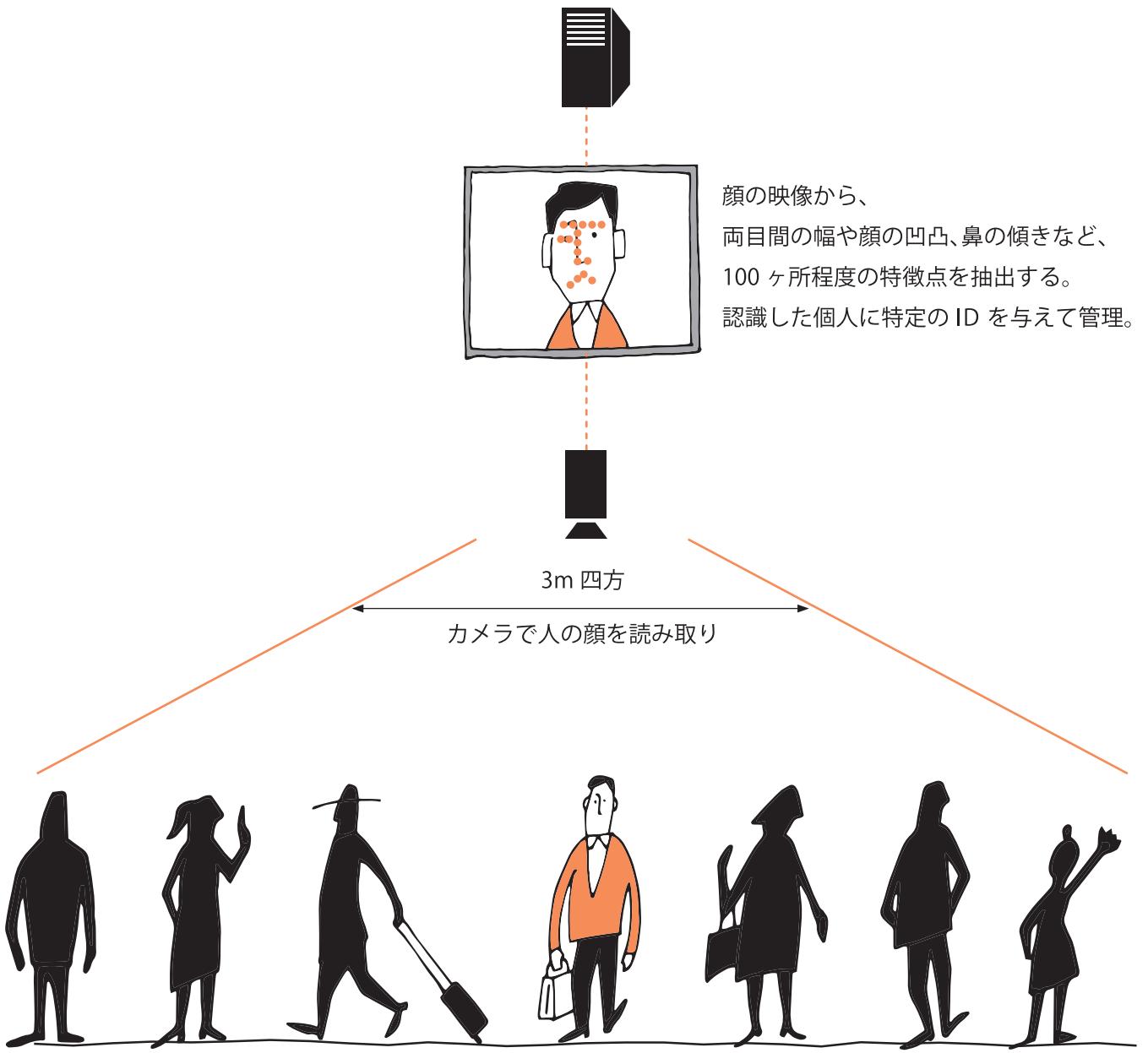


議論しよう！

顔認証・追跡システム

とある科学技術の実験の是非をめぐって、大きな波紋が広がりました。今回紹介するのは、顔認証技術の応用に向けた、公共空間における実証実験の事例。この論争が意味することは何でしょう？ 資料に出てくるキャラクターの立場になって、意見してみましょう。あるいは開発者の立場になって、議論してみましょう。





世界中のどこを探しても、「私と同じ顔」は存在しない。

最近の技術では、顔の凹凸から特徴を検出して、1人1人を特定することができる。

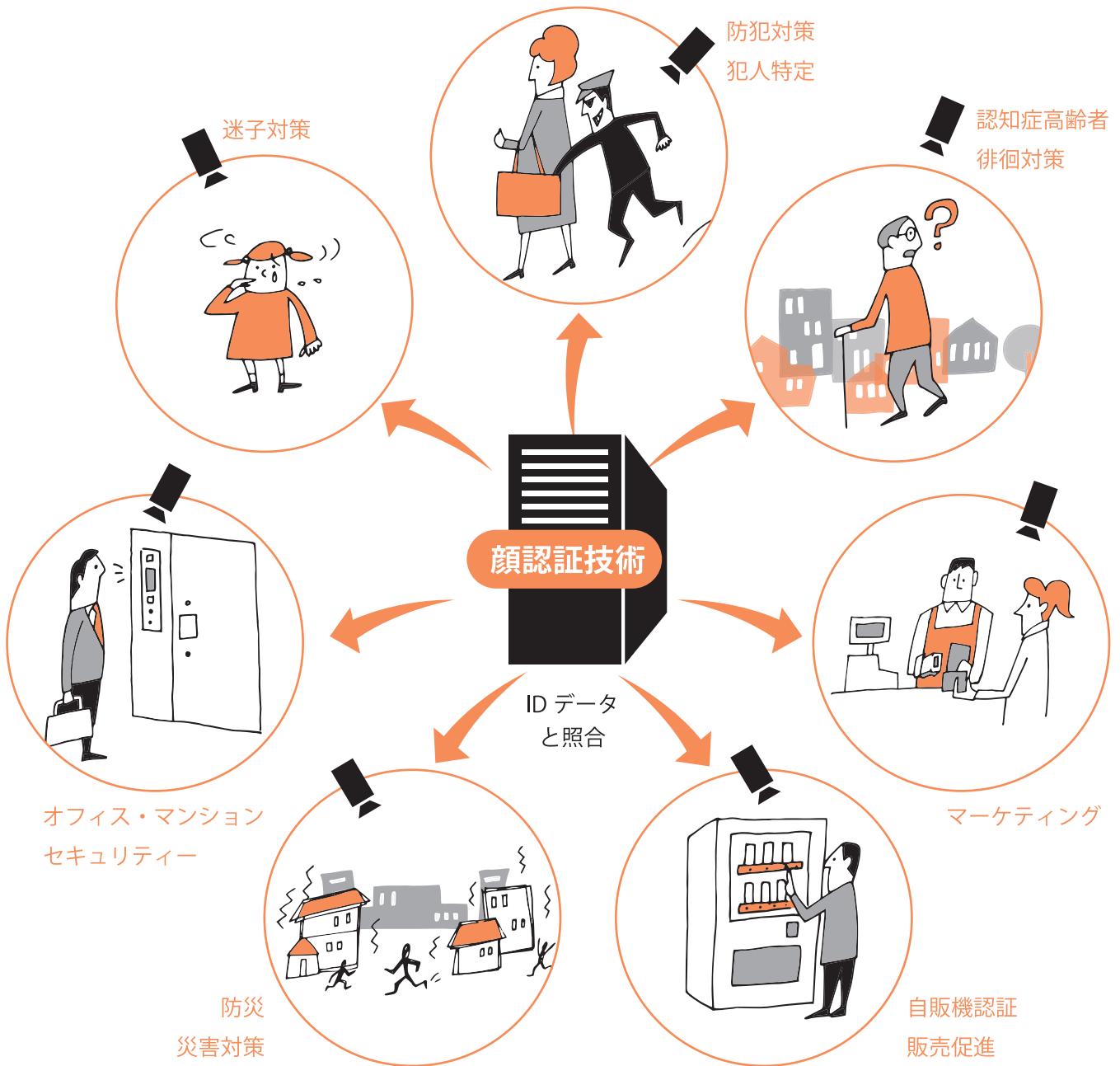
「顔認証技術」といい、なんと個人識別率は99.99%だという。

個人を識別する方法として、従来から指紋認証や虹彩認証という技術もあるけれど、顔認証は、離れたところからでも識別できるので、さまざまな可能性を開く。

memo 顔認証技術とは？



カメラで人の顔を読み取り、顔の特徴を照合して個人を識別する生体認証技術。2001年、米国の同時多発テロを機に、欧米の空港を中心に導入が進み、本人確認や防犯対策、容疑者の顔写真との照合などに活用されている。個人情報やプライバシー問題などの観点から、活用に慎重な意見も多くある。



顔認証技術は、これから防犯や、犯人特定の精度を変えるだろう。

迷子や行方不明の捜査はもちろん、認知症高齢者の徘徊対策としても期待できる。

また従来からの販売情報システムとつなげれば、マーケティングにも有効だ。

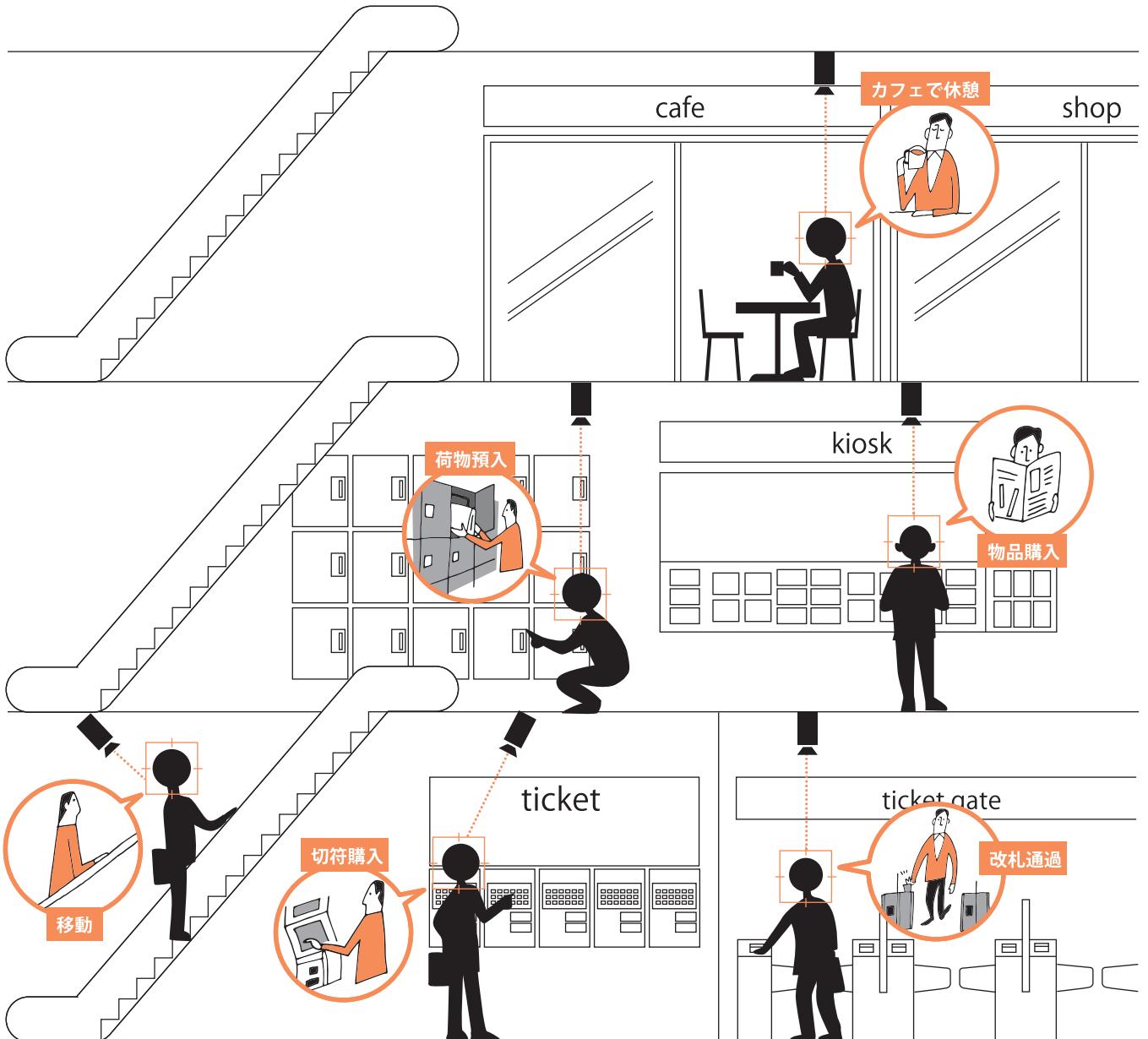
商品購買のおおよその年齢層や男女比がわかるし、

個人の購買履歴から「その人」の欲しがりそうなものを提案したり…。

memo 個人情報と、顔認証



個人情報であれば、その利用目的を本人に通知するか、公表しなければならないと定められているが、これまで「顔の特徴」のデータ化は、個人情報にあたるかどうか曖昧だった。しかし改正個人情報保護法（平成27年9月9日付）で、顔データは「個人識別符号という個人情報にあたる」ことが明確になった。



JR 大阪駅を核とした「大阪ステーションシティ」では、こんな実験が計画された。

施設内にセットした 90 台のカメラを連携して、1 人ひとりの人物を顔認証で特定。

大阪ステーションシティ内での行動を、追跡するというものだ。

時間帯ごとの人の流れや滞留度合いをデータ化し、災害時の避難誘導に役立てる。

しかし、この実験計画が思わぬ方向に波紋を広げた。

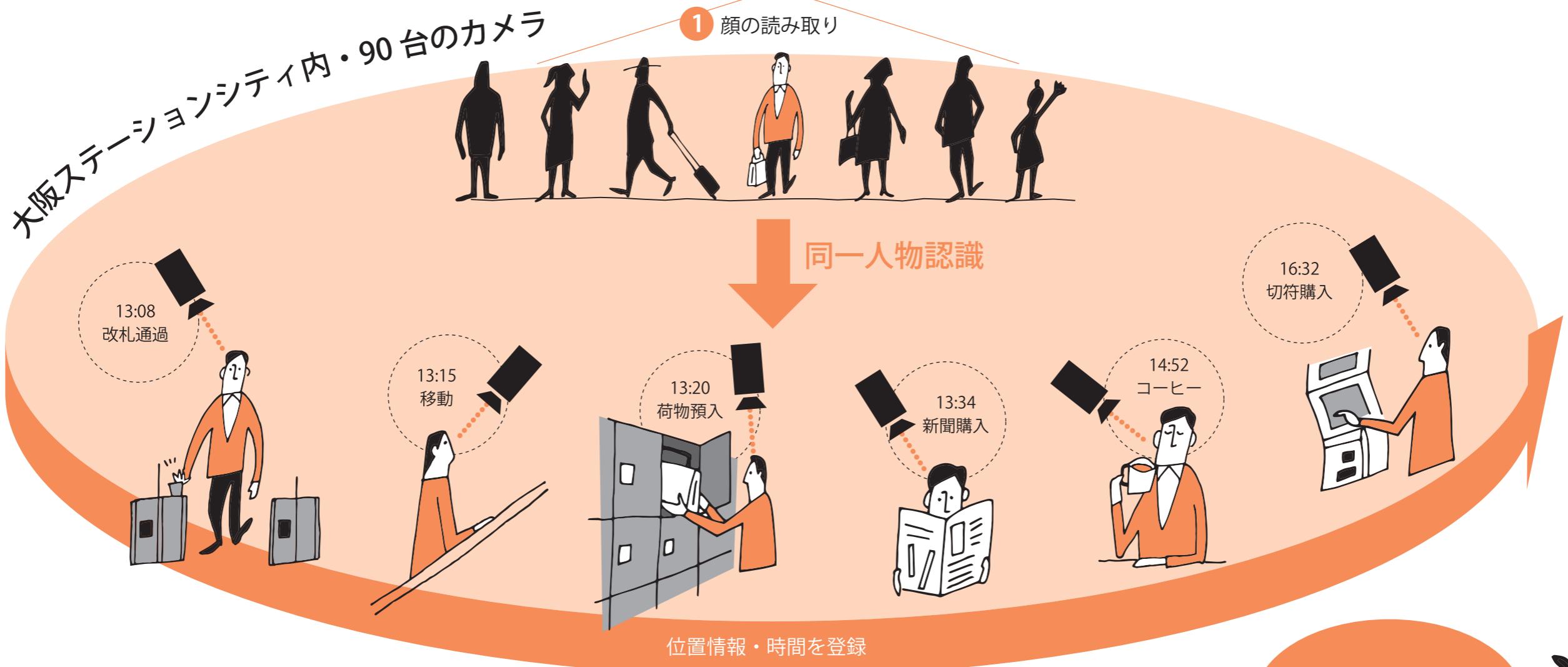
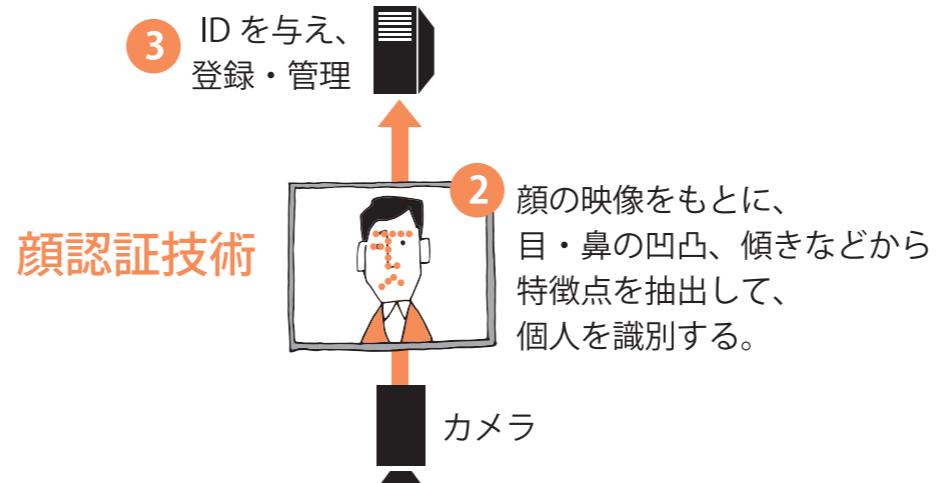
memo 顔認証・追跡実験@大阪ステーションシティ



大阪ステーションシティ内で 90 台のカメラを連携して、同一人物の顔を認識し、その人物の行動履歴を 1 週間分記録する実験が、2 年間の予定で計画された。当初、集めたデータは顔の画像を消去した上で JR 西日本に無償提供することが予定されていた。この計画に対し、プライバシーの侵害などを理由に、市民や有識者等から多くの批判が寄せられた。

顔認証・追跡システム

@大阪ステーションシティ
(JR 大阪駅 & 駅ビル)



経緯

- 2014.1 実験計画の発表
- 2014.3 市民から反発多数
- 2014.3 実験の延期発表
- 2014.9 条件付きで容認
- 2014.11 エキストラで追跡実験

目的

季節や時間帯ごとの人の流れや滞留の度合いを明らかにし、災害時の避難誘導などの安全対策に役立てる。

議論しよう！

